

欧州F2 ドイツ（ホッケンハイム）

[初] Part2(435)

F1開幕戦に勝利し、1968年のチャンピオン最有力候補であったJ.クラーク(Jim Clark)が、第2戦までのインターバルの間にLotus48で出場。

第1ヒートの5周目に、彼はこのレースで突然コースアウトしてしまい、時速190kmで立木に激突し亡くなった。原因は完全には特定されなかったが、タイヤの空気圧の低下であったとみられている。

この時期はベルトをしている方が、火災発生時などは危険ということで、ベルトが装備されていなかった。

しかし、彼はこの事故で車から放り出され、木に激突したのが致命傷となった為、後にレギュレーションが変更されて、シートベルト装備が義務付けられた。

ただし今回の事故に限っては、マシンの破損状況より、ベルトを装備していても無事ではなかったと思われる。



事故車の写真（クラッシュの瞬間の動画は存在しないと思われる）

[「Wikipedia - ジム・クラーク」](#)

[「Jim Clark, Formula One World Champion（海外リンク）」](#)